



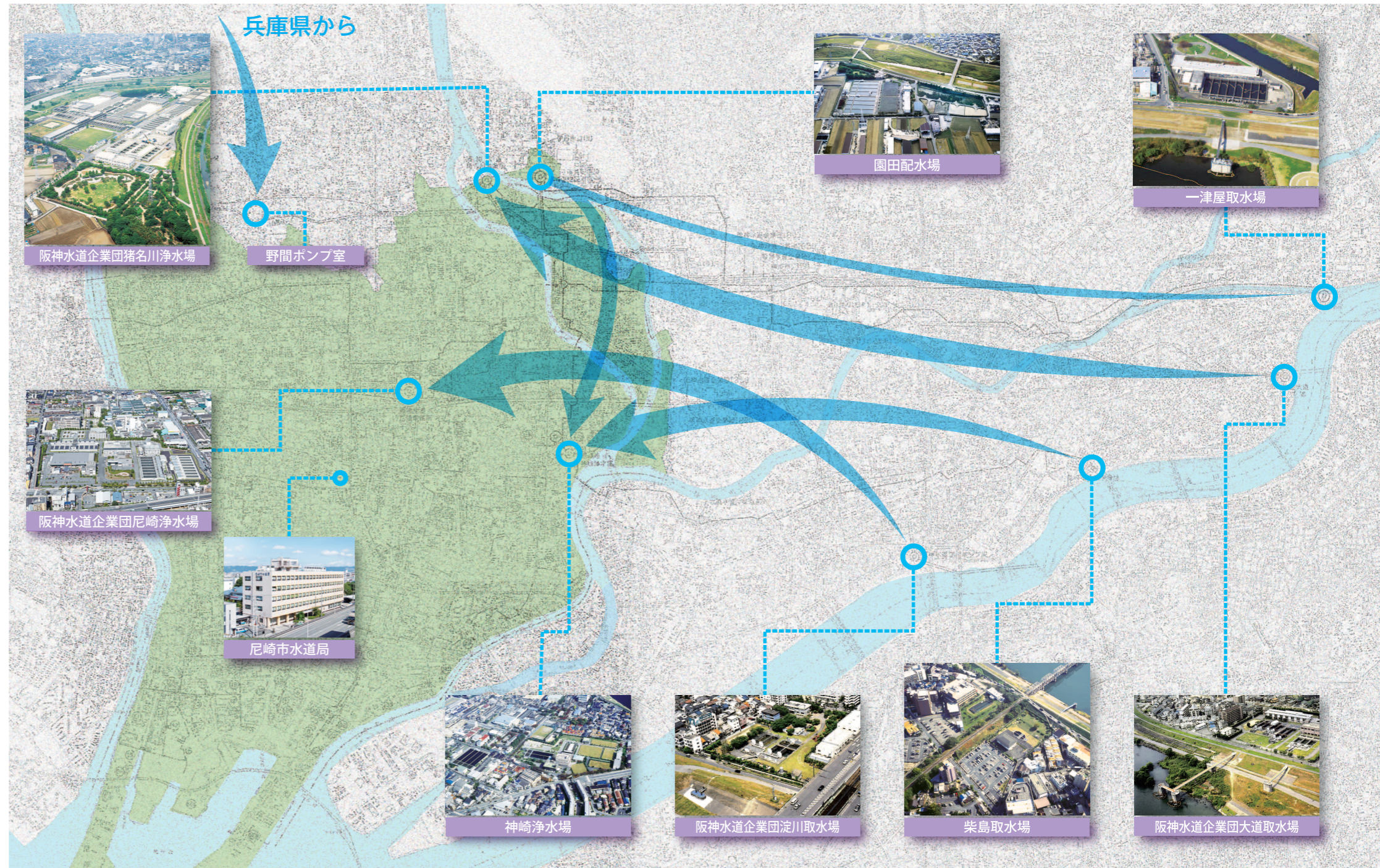
# 暮らしをささえる 尼崎市の水道

水道事業は大正7年(1918)10月1日に給水を開始して以来、街の伸展とともに増大する水需要に対応するため、これまで7期に及ぶ拡張事業等を実施し、安定した量の水を確保しています。

また、尼崎市の自己施設では現在、柴島取水場と共同施設一津屋取水場において淀川の水を取水し、その河川水を尼崎市まで導水し、神崎浄水場においてオゾンと活性炭を用いた高度浄水処理を行い、安全・安心な水道水を供給しています。

阪神水道企業団も高度浄水処理を行っており、尼崎市で使われる淀川の水はすべて安全・安心な高度浄水処理水です。

また、阪神水道企業団及び兵庫県から水道水を購入(受水)し、尼崎市の神崎浄水場系の水道水とともに、市内全域へ供給しています。



## フロー模式図

